

<倉吉市>

平成24年11月7日
市長

平成25年度予算編成方針について(通知)

平成25年度予算編成方針

平成24年11月6日
企画審議会決定

.....

【予算編成の基本的な考え方】

1. 市の財政状況

本市の財政状況は、平成23年度決算において、経常収支比率92.5%、実質公債費比率17.7%（18%以上の地方債許可団体から18%未満の地方債協議団体へ移行）、財政調整基金及び減債基金の保有額約19億円と、実質公債費比率と基金保有額は前年度より改善し、ほぼ財政目標の水準に到達してきているものの、経常収支比率は依然高い状態が続いており、財政の硬直化は解消されていません。

第11次総合計画「“くらしよし”ふるさとビジョン」では、平成27年度までに実質公債費比率18%未満、財政調整基金及び減債基金の保有額20億円と目標を定めており、これを基本に財政運営を行うものです。

2. 重要施策

「“くらしよし”ふるさとビジョン」の諸施策に対応し取り組むことを基本に、将来都市像「愛着と誇り 未来いきいき みんなでつくる倉吉」を目指し、次世代に誇りと自信を持って継承できる倉吉市の確立を図るため、平成25年度は特に以下の事業について重点的に取り組むものです。

- (1) 災害に強く、安全・安心なまちづくりを推進する事業
- (2) 雇用の創出並びに活力ある産業を振興する事業
- (3) 地域資源を磨くとともに新たな魅力を発掘し集客力を高める事業
- (4) 次代を担う子どもたちの育成並びに郷土への愛着と誇りを育む事業
- (5) 安心して子どもを育て、高齢者がいきいきと暮らせる活力ある地域づくりを推進する事業

3. 予算要求における留意事項

本市の厳しい財政状況を踏まえ、予算要求に当たっては下記に留意してください。

- (1) 事業の目的・必要性・優先順位・費用対効果の再確認
- (2) 重要施策への的確な対応と既存事業の見直し
- (3) コスト意識を持ち前例にとらわれず方法や仕組みを見直すこと
- (4) 市民・各種団体・議会などからの意見・施策提案への配慮
- (5) 国・県はもとより各種公益法人からの助成制度など新たな財源の確保
- (6) 各部署横断的の事業に係る手法の検討

.....

平成24年11月7日

平成 25 年度予算編成留意事項について（通知）

平成 25 年度予算については、下記事項に十分留意のうえ予算要求を行ってください。

1 一般事項

- (1) 部局内、部局間でよく調整した上で予算要求を行うこと。その際、事業の目的妥当性・有効性・効率性等を充分考慮すること。
- (2) 廃止・減額を決定した事業については、関係諸団体に早急に連絡をすること。（関係諸団体においても予算を組まなければならない。）
- (3) 国・県の予算、地方財政計画等が決定していないので、原則として現行行財政制度に基づき、年間予算を編成するものとする。
- (4) 歳入については、合理的な財源の確保を図り、歳出においては財源の重点的配分と経費支出の効率化に徹し、併せて受益者負担の原則に基づき、行政コスト等を考慮し節度ある財政運営を堅持すること。
- (5) 予算の補正は、制度改正を伴うもの及び災害関係経費等、真にやむをえないものについてのみ行うものとする。

．．．．

6 予算要求の入力等について

- (1) 入力期限 平成 24 年 12 月 10 日（月）17 時（期限厳守のこと。）
- (2) 予算編成の日程
 - ・ヒアリング 平成 24 年 12 月下旬から平成 25 年 1 月中旬（予定）
（担当課による説明は、平成 25 年度新規事業及び平成 24 年度と比べて大きく変更のあった事業を中心に行うこと。）
 - ・財政課長査定 平成 25 年 1 月中旬（予定）
 - ・総務部長査定 平成 25 年 1 月下旬（予定）
 - ・市長査定 平成 25 年 2 月上旬（予定）